

誕生日祝い

小木曾 賢己(10日)
新藤 信夫(13日)
押野 一郎(15日)
川崎 春夫(28日)
貝沼 勤(28日)
谷口 剛(29日)
各会員



イニシエーションスピーチ

上田 純一 会員

埼玉懸信用金庫大宮西支店の上田純一と申します。高橋誠一会員のご紹介でこの伝統ある大宮西ロータリークラブへ入会させていただきました。

皆様には今までロータリー活動を通じていろいろとご指導いただきましたこと、この場をお借りして改めて感謝申し上げます。ありがとうございます。

入会してもうすぐ3年が経とうとしております。今更ではございますが、私のことを知っていただければと思い、生い立ちを中心に自己紹介させていただきます。

◆現在

私は昭和47年4月生まれの48歳です。家族構成は妻、高校生と中学生の二人の娘の4人家族で、あとマルチーズを飼っています。マルチーズが可愛くて日々の癒しをくれます。

◆誕生から小中学校

生まれはさいたま市緑区、父は国鉄職員です。地元の小中学校に入学し中学ではテニス部に所属、1年生からレギュラーで3年生では部長を務めました。しかし、公式戦で勝利した記憶がなく弱小チームでした。

◆高校から大学

中学を卒業し埼玉県立伊奈学園総合高校へ進学。その当時は、団塊世代のジュニア世代で、受験戦争が激しかったと記憶しています。が、世はバブル時代に突入！とにかく大学にさえ進学すれば明るい未来が待っていると信じ、日本大学に入学。

◆就活

しかし入学直後にバブルがはじけ、世の中は不景気に。卒業までには景気も回復するだろうと思いきや、悪化の一途を辿り就職難に。それでも幸運なことに数社に内定をいただきました。が、当時は一人暮らしをしてみたくて、全国展開しているような企業に憧れ、入社後は埼玉県から離れる予定でした。

◆埼玉懸信用金庫に就職

しかしながらその時、母が体調を崩して入院。検査結果はがん、そして余命宣告されるほどでした。

私は悩みました。長男の私が父を一人にしてはいけない、そう思い、急遽、埼玉県内の企業への就職へ方向転換しました。しかし、就職活動期間は終盤、さらに不景気と厳しい状況。そんななか、今の職場である埼玉懸信用金庫にご縁をいただきました。



埼玉懸信用金庫に入庫して早いもので26年が経ちます。

埼玉懸信用金庫ではお客様の健康と安全を最優先に、新型コロナウイルス感染拡大による影響を受けられたお客様の資金決済や事業資金のご支援などの金融サービスの提供を行っております。また、販路拡大のためのマッチング・事業承継のお手伝いなど、さまざまなサービスにより地域の発展に貢献するとともにお客様の夢の実現のお手伝いができるよう頑張っております。

引き続き会員皆様のご指導ご鞭撻のほど、よろしく願いいたします。

